

# 静岡市環境大学2019 講座報告 15日目

**演題：** 野外活動における指導者の心構えとリスクマネジメント

**静岡市南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家 内田聖悟様**

**場所：** 沼上資源循環学習プラザ（しずもーる沼上）3F

**時間：** 9：15～10：30



## 要点1：体験活動におけるリスクマネジメント（安全管理）の基本

- リスクマネジメントとは、起こりうる危険を最大限予測し、その要因を点検し、丁寧に安全対策に取り組むこと。
- 体験活動の本質を損なわず、リスクの軽減・回避することが、体験活動における安全管理の基本となる。
- リスクの全くない体験活動はない（リスクを評価・コントロールする力が求められる）

## 要点2：リスクマネジメント（安全管理）を行う基本的な手順

- リスクの発見・把握：常に様々なリスクを感じ取る力が求められる。【リスクは変化している！隠れている！】
- リスクの評価・分析：リスク要因は刻々と変化し、その時々で評価・分析を正確に行う。（簡単に評価しない）
- リスクの対処・処理：危険を把握したら、参加者へ適切に対処し、安全が確保できるように、柔軟な選択をする。

## 要点3：リスクマネジメント（安全管理）のチェックポイント ～リスクの軽減を追及～

- 計画段階：活動内容を絞り、組織の共通理解、現地の下見、参加者との信頼関係を作り不安を抱かせない。
- 実施段階：最新の情報を入手し、危険物の除去や場所の変更、参加者の健康状態を把握し、緊急時の対応を想定する。
- リスクはゼロにならない！対処の後に新たなリスクは生まれる！リスクマネジメントに終わりはない！
- リスクは色々な視点から広く見ることで、リスクを軽減できる可能性が高くなる。

## 受講生の感想

- ★資料と説明が非常に分かりやすかった。
- ★今まで自分では感じえなかったリスクが、身近にあることを自覚しました。
- ★リスクマネジメントを学び理解が深まり、視点は複数あった方が、広くリスクマネジメントを軽減できると感じた。
- ★地域でのハイキング企画があり、リスクについて確認しなければと、再度意識できた。